



こんにちは、岡田よしひでです

2024年12月1日発行
県議会活動報告ニュース
NO.233

自宅 南国市浜改田 430-1
TEL/FAX 865-2932
携帯 090-4337-4527

岡田よしひで事務所 864-2426 南国市駅前町 2-5-11 県議会共産党控室 823-9524 高知市丸ノ内 1-2-20



議員定数問題等調査特別委員会
隣りは塚地さち議員 (10月16日)

持続可能な物部川流域の発展を 〜一次産業を軸として〜

香美市革新懇が11月16日に開いた学習会で、私は標記の題目で話題提供し、参加者で議論しました。

一次産業といっても農業が中心の話しになりました。筋は、①戦後の日本農政と農業の現状、②ウクライナ侵略、気候変動など日本農業をとりまく世界情勢の変化と対応、③新自由主義の規模拡大、輸出促進の農政と、置き去りにされる地域農業の現実、④自然と共生する安心・安全の家族農業の役割、⑤高知県産業振興計画の農林水産振興策の成果と課題、⑥高知県の経済収支の特徴（収支は赤字で電

気・ガス等の持出しが多い）、⑦再生エネを含む持続可能な地域循環型経済圏確立の意義と先進事例、⑧幅広い人たちの話合いの場づくり、⑨大学等と共同した地域振興、⑩物部川流域の歴史や文化、物部川に関わる人たちと川のめぐみを活かす取組み、⑪高知県が弱いといわれる加工にも力を入れた地消地産と地産外商です。45分ほどお話しして皆で議論しました。

物部川に関わる人や有機農業を実践している人も参加していて、皆さんから貴重なご意見をいただき、私としては大変有意義な会になりました。継続して議論ができればと思います。

海水温上昇への対応と漁業振興

日本共産党は9月定例会で海水温上昇に対応した一層の漁業、水産業の支援策について質問しました。

水産振興部長は、現時点では、海水温の上昇と漁獲量の変動に明確な関係は見られないと述べました。その上で、海水温の上昇が進めば、魚の生息域が変化する可能性があり、魚種の変化や不漁に対応できるよう、単一の魚種に頼らない漁業への転換を進めるため、複数の漁業を営む

術の習得に向けた支援の拡充について検討する、と答えました。

一方で、養殖は、近年、高水温の影響で、ブリやマダイへの被害が発生しています。国の報告では、海水温の上昇による赤潮の発生の上昇が懸念されます。そのため、高知マリノベイションで取り組んでいる赤潮発生予測の一層の充実に取り組むとともに、高水温時には漁業者や漁協に対して餌やりや出荷作業などの中止を促す注意喚起を続け、被害の軽減につなげます。今後は、これらの対策とともに、水産試験場において海洋環境や漁獲物のデータを収集、分析し、海水温の上昇に対応した支援策を検討してまいります、と答えました。



おむすび通信 (233)

南国市役所で11月19日、令和6年度南国市・岩沼市小中学校交流事業市長報告会が開かれ、出席しました。南国市では平成25年度から姉妹都市である岩沼市へ小中学校の代表児童生徒を派遣し、現地での防災学習と岩沼市内小中学校との交流を行っています。派遣された9人の児童生徒が市長に活動報告。たくましく感じました。